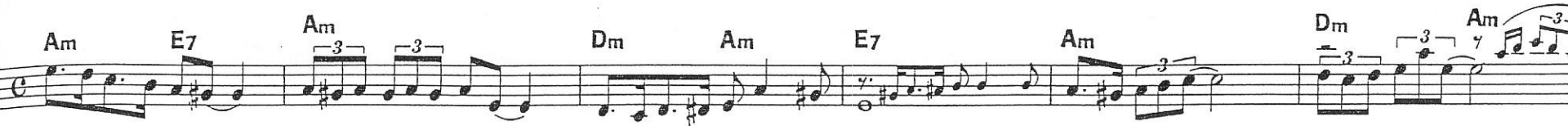


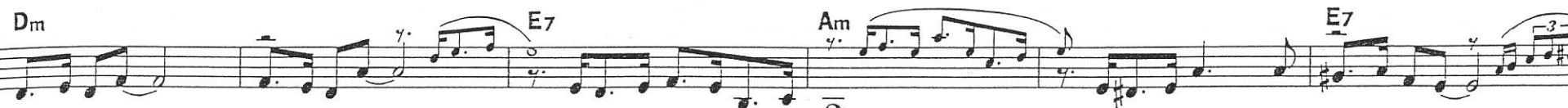


哀愁の街に霧が降る

佐伯孝夫—作
吉田正—作
山田真二—



ひぐれがあおいつけてゆく—よいのじゅうじろ—
はなうりむすめのはなたばも—ぬれるじゅうじろ—
せつなくふるふるみもほそる—きりのじゅうじろ—



な—みだ—いろした—きりがきょうもふる—わすられぬひとみよ—
の—こる—かおりに—あまくおもいだす—すぎしひのあのよは—
ま—どを—もれくる—うたもすすりなく—なつかしのブローチ—



よべどなみきにきえて } あ—あ いしゅうの まちにきりがふる
カラ—フィルムのコシマか
はだにつめたくしみて

